

9月21日は世界アルツハイマーデー



1994年9月21日、スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催され、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的に、「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、毎年この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取組が行われています。